

SDGs とは？



目標 13 気候変動に具体的な対策を

“気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう”

過去 30 年間の日本の熱帯夜の平均日数は、1910 年からの 30 年間の平均の約 2.6 倍です。
出典:気象庁ホームページ「大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。



認知症地域支援推進員のつづやき 44

～「信頼」という名のジレンマ!?～



認知症の症状の特徴として、最も身近な介護者である家族に対して「お金を盗んだ」、「何も世話をしてくれない」など実態とは違った言葉を発することが多く見られます。その一方で時々会う親族や近所の方など周囲の方々には穏やかにその場に合った対応をすることも特徴です。当然のことながら言われた介護者は、「毎日、介護しているのに・・・」、「一生懸命やっているのに・・・」と思うのと同時に周囲に理解されないことから孤立を感じます。

なぜ、認知症の方はこのような言動をするのでしょうか？それは身近な介護者に対する絶対的な『信頼』からとも言われています。そういった私たち自身も少なからず家族と他人の前での言動は異なりませんか？他人には体裁を整えて対応しています。表現の差こそあれ認知症の方も同じ立場であり、信頼があるからこそ認知症の症状を強く出せるのではないのでしょうか。

介護者も周囲の方々もこういった認知症の特徴や背景を知ること、認知症の方に対しやさしく対応ができ、また周囲の方々が介護者へ感謝の気持ちを伝えてあげることができるのだと思います。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 地域包括支援センター ☎ 6 8 - 8 9 4 1
- 複合施設 響 ☎ 6 1 - 8 5 0 0
- 利根町保健福祉センター ☎ 6 8 - 8 2 9 1
- 介護老人保健施設もえぎ野 ☎ 8 4 - 6 0 8 1



男女共同参画ってなあに？ Part 96

性は男と女の 2 つだけなの？



▶あなたは自分の性を聞かれた時、迷わず答えることができますか？

性とは、以下の 4 つの要素で見ることができます。

- 身体の性…生まれつきの身体の違い、生物学的性別。身体的な性別や戸籍上の性を指す。
- 心の性 (性自認) …自分が認識している性別。
- 社会的な性…社会的に作られた男・女らしさの性役割 (装い・しぐさ・言葉遣いなど) の性表現。
- 好きになる性 (性的指向) …恋愛感情を抱く相手の性別。

性は男と女だけではなく、多様なものです。4 つの要素の組み合わせによって、性のあり方は十人十色で、一人一人違います。また、性のあり方は、境目がはっきりしていない「グラデーション」ともいわれており、男と女の境目もはっきりしたものではありません。そして「性的マイノリティ」とは、多数派の「身体の性と心の性が一致して、好きになる性は異性」に当てはまらない少数派の人たちのことをいいます。

性的マイノリティの総称のひとつに、[LGBT]という言葉があります。L (レズビアン…女性を好きな女性)、G (ゲイ…男性を好きな男性)、B (バイセクシャル…同性も異性も好きになる人)、T (トランスジェンダー…心と身体の性に不一致を感じる人)、その他 (クエスチョニングなど…揺れ動いている・決めたくない・わからない)

LGBT 総合研究所「LGBT 意識行動調査 2019」の結果によると、LGBT・性的マイノリティの人たちは 10 人に 1 人の割合でいるといわれており、とても身近な存在なのです。

▶LGBT を生きる困難

自分の身体の性と心の性が一致していないことや、自分が好きになる性に気づく年齢については人それぞれ異なり、思春期やそれ以降に気づく人もいます。しかし、自分が周囲と違うと感じても性に関することは人に相談しにくく、悩みや不安を一人で抱えて孤立しがちです。

性別で区別される場面が苦痛 (トイレ・制服など)、恋愛の悩み、仲間が見つかりにくい、パートナー関係の法的な保障がない (病院、社会保険など) などはほんの一部に過ぎず、「性は男と女の 2 つしかない」「好きになる性は異性に決まっている」という固定観念が、性的マイノリティの人々を生きづらくさせているのです。性別に左右されず、誰もが「ありのままの自分」で生きられる社会を切り開くには、私たち一人一人が、さまざまな多様性があることを理解し、正しい知識を持つことが必要なのです。

問い合わせ先 政策企画課 政策企画係 ☎ 6 8 - 2 2 1 1 (内線 3 3 7)



福祉コラム ～広げよう心のバリアフリー～ Vol. 4

「わたしにはどんなことができるのか」を考えてみましょう。

私たちが住む町には高齢者や外国人、妊娠している人、介助している人、赤ちゃん連れの人などさまざまな人がいます。みんなが笑顔で暮らすためには、お互いのことを知ることから始まります。障害のある人についてもそうです。まずはよく知って、「わたしにはどんなことができるのか」を考えてみましょう。

- 【肢体不自由】 病気やケガで手や足などの体の一部や全身に障害があり、日常生活で困難なことがあります。
 - 車いす、つえ、歩行器、補装具などを利用している人がいます。
 - 階段や、坂道の移動が困難な方がいます。
 - 備え付けのアルコール消毒の利用に不便を感じる方がいます。
- 接し方
 - バスや電車、駐車場などの優先スペースの利用を控える。
 - 困っている方を見かけたら、積極的に声をかけるなど。

日頃からの気遣いがとても大切になります。



問い合わせ先 福祉課 社会福祉係 ☎ 6 8 - 2 2 1 1 (内線 1 2 8)